

第58号

令和元年
10月10日

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp



社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoyukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会



第58号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん、こんにちは。

10月の声が聞こえるようになり、いつもの田圃のあぜ道に赤白の彼岸花（曼珠沙華）が鮮やかに咲いているのを見つけました。今夏の猛暑はすさまじいもので、又、台風の影響も多大な被害をもたらしました。

改めて広域停電で、エネルギーを始め、電力に依存した現代社会の弱点を痛感させられました。

私達の運営する医療・福祉施設は、災害時には救急・救命治療、安全避難の拠点となるもので、電力ストップはその活動使命を失わせるものとなります。

早速、再度災害時の全館停電時の対応策を見直してみると、自家発電装置の拡充、自家発電供給車の配置等、色々な対策案があがりましたが、なかなか十分な抜本策を

完備することは、予算面でも困難であります。

国をあげての行政面での可能な限りの具体的な施策の行使を期待したいと思います。

現代文明の、急速な発展による、エネルギー排泄の増大が地球温暖化を加速していると考え、私達の身近な、対応処置の実施も、喫緊の課題と言えるでしょう。科学文明の進歩にも自然に奪ることなく敬虔な調和のとれた道を如何にたどっていくか、私達人類に課せられた命題であります。

色々な地域・団体で取り組んでいる、草の根運動にも出来る限り私達も参加して参りたいと思っております。



骨髓バンク“友情”～秋桜のバラード～ 友情出演

理事長 中村 猛

白血病等血液がんの最終的な治療となる骨髓移植は現在、骨髓バンクを通してその提供者は52万人と増えております。しかしながら適合するドナーが見つからず、移植が出来ず、不幸な転帰をとる患者さんがおられます。

ミュージカル“友情”は劇団絵生が日本骨髓バンクをはじめ色々な団体の後援、支援を受け今年で20年、今回で605回の上演を行なって、その収益金の一部を骨髓バンクに寄付してこられました。このストーリーは実際アメリカであった実話から映画が製作され、そして日本でミュージカルとして上演されてきました。

14歳のあゆみちゃんが白血病と闘い、まわりの友達の温かい友情に囲まれ、残念ながら適合するドナーが見つからず命を落とす悲しい結末の中、人の命、友情、愛と言った人生の大切な輝きを問いかけるストーリーです。私は不肖・主治医役に声がかかり、生涯初めてのミュージカルの舞台に立ち、憶えたセリフとパフォーマンスを

一生懸命演じました。

このミュージカル“友情”のすばらしい奉仕活動に心から感銘し、これからも大いなる活動を発揮していただきたいと思っております。



9月20日 守口文化センター・エナジーホールにて



「糖尿病治療と就労の両立支援」と「働き方改革」

院長 高橋 輝

働き盛り世代の「糖尿病治療と就労の両立支援」が問題になっており、今年の全国学会にてシンポジウムが開催されました。仕事をされている方が、わざわざ休みをとって、平日昼間の外来を受診するのは難しいですよね。そのような方が利用しやすいのが土曜日外来や夜診になると思います。

残業時間規制や有給消化を促すといった「働き方改革」は、規制を守らない企業に対して罰金を課すなどの国の制度が始まっています。また、労働基準監督署により大病院での残業時間の多さを指摘される事案が相次いでおり、東京の有名な大病院では指導への対応のため土曜日の診療を休止しました。

「糖尿病治療と就労の両立支援」と「働き方改革」はともに国が推進していますが、当院での対応を考えた場合、なかなか難しい問題です。当院の従業員は一般企業と同様に完全週休2日制で、当然1日8時間労働です。しかし、救急や病棟業務は24時間体制を維持する必要があるため、夜診に従事している一部職員は9時から18時までの日勤終了後に残業しています。土曜日外来は就労者のニーズが高く「糖尿病治療と就労の両立

支援」として有効な対策と考えていますが、当院の“就労者”にとっては週5日の勤務体系で週6日の午前外来への対応が必要で、今まで一部職員の“頑張り”で対応できていた面がありますが、“頑張り”過ぎると「働き方改革」の残業規制に抵触してしまいます。東京の有名病院で例示したように、医療従事者の“頑張り”で成り立っていた大病院での救急医療等に「働き方改革」がストップをかけています。コンビニ受診と言われ社会問題になりましたが、本家コンビニでも24時間営業が難しい時代になっており、利便性を犠牲にして、限られた時間内での対応を利用者に求める社会になりつつあるように思います。

当院でも朝の診察受付を7時から8時に遅らせたり、病棟での病状説明や相談業務を平日時間内をお願いするなどの対応を迫られています。今後とも診療体制を維持するよう努力を続けて参りますが、限られた人員にて対応している時間帯もありますので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。



呼吸器内科尾田医師就任挨拶

呼吸器内科 部長 尾田 一之



令和元年7月1日よりみどり会中村病院で勤務させていただいています尾田一之です。

出身は滋賀県彦根市、昭和42年生まれで今年52才になります。出身大学は北海道大学で大学時代にはラグビーサークルに入っていました。卒業と同時に大阪大学の医局に入り今でいうところの初期研修は主に消化器外科で

トレーニングを受けていました。大学での研究生活を終える頃に縁あって大阪府立成人病センター（現大阪国際がんセンター）の呼吸器外科で勤務する機会を得て以後は呼吸器外科

一筋です。

堺市立総合医療センター、市立東大阪医療センターでは一般的な呼吸器外科症例も数多く経験しつつ化学療法や緩和ケアにも携わってきました。昨今よく聞かれる“チーム医療”や“多職種連携”という言葉がありますがその大切さは実感として強く感じているところです。

この度一念発起(?)しまして少し早いですが外科医を引退して少し違った角度から地域医療に貢献できたらと思い中村病院でお世話になることになりました。中村病院の中でチームの一員としてお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



健診センター便り

当センターでは、企業・団体様向けの健診枠として、8月より月曜日・水曜日の午後受診の枠を設けて好評いただいております。午前中の健診では外来診療時間と重なるため検査項目によってはお待たせする場合がありますが、午後はほぼ健診のみとなっております、専属の医師のもと、ゆったり受診いただけます。詳しくは健診部までお気軽にお問合せ・お申込み下さいませ。



中村記念クリニック・みどりの館



診療体制が10月より変わります

中村記念クリニック 院長 高橋 輝子

団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者となる2025年。現在の後期高齢者と合わせると国民の4人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会になると予想されています。

私は地域医療に従事して20年ほどになりますが、医療・介護の現場も多様に変化していると感じます。在宅や施設でお過ごしの方の病状の安定された元気な90歳100歳代の方が増加され、ご本人・ご家族様が最期はこのような迎えたいというご希望を明確にされる事が多くなったと感じています。と同時に、今までは

最期の迎え方に選択の余地もない状況を作っていたのではないかとこの自責の念にかられる事もあります。訪問診療・往診の需要が増え、最期を住み慣れた場所で迎えたいとの自宅や施設での看取りのご希望に添えるよう、この20年余りの在宅医療で様々な事を教えてくださった患者様ご家族様への感謝の念と共に2019年10月より中村記念クリニックは訪問診療に重点をおいたクリニックに変わります！

外来診療 月曜日・水曜日・金曜日 9時から12時

訪問診療・往診 月曜日～金曜日

訪問診療等についての詳細は、中村記念クリニック又は、中村病院 地域連携相談部までお気軽にお問い合わせ下さい。

なごみの里夏祭り

地域交流委員会 河野 貴俊

9月1日残暑が厳しい中、なごみの里では夏の恒例行事として『夏祭り』を開催しました。今年は雨の日が続く中、当日は天候に恵まれ、たくさんの方々に来所して頂くことができました。

数日前から提灯やポスターなどの飾り付け、チラシ配りなど夏祭りに向けての雰囲気作りを行ってまいりました。

当日開会式以降、舞台では子供たちによるソーラン節からボランティアの方々による日本舞踊や南米音楽などの踊りや演奏、最後は新人職員による出し物により会場の雰囲気は盛り上がりを見せました。屋台でも美味しそうな匂いや呼び込みによる賑わい、ゲームを楽しむ子どもたちの姿など皆

さん思い思いに祭りを楽しむ姿を拝見することができました。

年に1度の行事ではありますが、幸いなことに夏祭りの準備・運営にはたくさんの地域住民の方々がボランティアとして協力して下さいました。たくさんの人々が集まり交流できる場として利用者様、ご家族様、そして地域住民の皆様とのお縁をこれからも大切にしていきたいと思います。

運営にあたり中には不自由・不都合をお掛けした点もあるとは思いますが、反省点として今後のより良い夏祭りの運営に生かしていきたいと思います。

夏まつりに参加・協力して下さいました皆様には心より御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



運営推進会議について

デイサービスセンター長尾の里 主任 坂本 恵美花

デイサービスセンター長尾の里は、定員10名の小規模デいで平成28年より地域密着型通所介護型に改訂後、運営推進会議を年2回開催しています。構成員は、ご利用者、ご家族、地域住民の代表者、地域ボランティアの方、地域包括職員の方々です。

議案として、

- ①長尾の里の活動状況の報告
- ②地域の皆様への活動状況の報告
 - ・長尾の里フロアの休日開放
 - ・車椅子の貸出の件数を報告 他

を行い、要望や助言を頂いています。

第7回を8月28日に実施し、主にご利用者の普段の様子としてレクリエーションや体操、自立支援を目標とした個別メニューの提供を報告しました。

次に新たに取り組みとして発行した「長尾の里通信」では、

一日の過ごし方（生活リハビリ、屋外散歩、おやつ作り等）、スタッフ紹介の記事を報告し、会議の中での感想や助言を、次号に活かしていきたいと思っています。

今後も本会議を充実させ、地域の皆様に親しまれ愛される様に取り組んでいきますので、ご支援をお願い致します。



在宅支援

地域のあらゆる通いの場

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

包括みどりでは高齢者のさまざまな総合相談に応じておりますが、最近の傾向では、ケアマネジャーへの担当依頼やヘルパーへの家事支援を依頼しても、すんなりと引き受けていただけないことが増えてきました。現場感覚では、介護人材不足は現実味を帯びてきており、これまでとはやはり異なってきていると感じています。これは高齢化による介護・福祉の問題の一つですが、一方で高齢者を支えることのできる社会をこれからは手探りでも作っていく必要があります。

枚方市では、交流を目的として人々が集まれ、自分の存在が

認められる場所として、気兼ねなくつろげる居場所を「居場所づくり事業」として取り組んでいます。様々な通いの場で、参加し体操等を行うことで、高齢者が元気になることが大切です。そこでは、新たな人と人との繋がりが生まれていて、地域のつながりが強くなっているのを肌身で感じています。

暗中の手探りではありますが、確かな手ごたえを感じつつ、地域の高齢者の元気をつくり、地域をつくっていくことがこれから必要なことだと思っています。



社会福祉法人松樹会の公募2事業の進捗について

いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

社会福祉法人松樹会では以前よりお知らせしています通り、枚方市からの選定を受けた2つの特別養護老人ホームの開設に向けて準備が進んでいます。1つは、学研都市線「長尾駅」の近くに開設予定の地域密着型特別養護老人ホームです。もう1つは、既に開設している特別養護老人ホームいこいの里の増築を計画しています。詳細な平面図も出来上がり、イメージパースも出来上がってまいりました。

スタッフ募集も8月より公開しています。新しい職場で経験を活かしたチャレンジをしたい方。一度話だけでも聞きたい方も大歓迎です。一度ホームページをのぞいてみてください。



ホームページ: <http://www.syoujukai.org/>



つくしんぼ藤阪『敬老祝賀会』

つくしんぼ藤阪 管理者 坊 晃子

この度、敬老の日を迎えられた皆様には心よりお祝い申し上げます。

9月13日、つくしんぼ藤阪では令和初の敬老祝賀会を開催致しました。入居者様の平均年齢は、男性89.3歳、女性87.9歳と、男性の長寿の方が多く、ご入居者様も少し驚かれていた様子でした。催し物では、この度、長寿のお祝いを迎えられた方【傘寿1名、米寿2名、卒寿3名】6名と、100歳以上の方3名、他全員にお祝いの色紙や紅白まんじゅうを贈呈させて頂きました。また、お楽しみゲームではビンゴ大会で盛り

上がり、素敵な景品を手に、皆様の笑顔あふれるお祝いを開催することができました。

また、9月16日の敬老の日には、今年100歳を迎えられた方に、枚方市長と内閣総理大臣よりお祝い状と粗品が届きました。入居者様のこのようなお祝いに立ち会うことができ、私たち職員一同心よりうれしく思います。これからも、皆様ますます、健康で明るく過ごすことができますよう、心よりお祈り申し上げます。



秋の職員旅行開催 淡路島

親和会 会長 坂口 翔太

9/8(日)みどり会・松樹会合同での社員旅行、「淡路島・大塚国際美術館」へ行ってきました。あわじ花さじきは赤と青のサルビアが広がり真っ青の空と海、明石海峡大橋もよく見えるととても美しい景色となっていました。ホテルニュー淡路では鳴門鯛の懐石料理を、大塚国際美術館では美術品を鑑賞しました。「システィナ礼拝堂、モナ・リザ、ひまわり」等数々の美術作品が1000点以上展示されており、複製品故に至近距離から見られる美術品の数々には圧倒されました。

毎年恒例の「社員旅行」を通して参加者同士で交流を図り、施設の垣根を超えたより質の高いチームワークを目指してまいります。

各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里
デイサービスセンター いこいの里 072-898-2197
サテライトいこいの里 072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪 072-868-2192
ケアハウスつくしんぼ長尾
デイサービスセンター 長尾 072-868-2190
ケアハウスつくしんぼ藤阪 072-868-2191
グループホーム たんぽぽ藤阪 072-868-2197
グループホーム たんぽぽ田口 072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ 072-868-2193
居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ 072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
中村記念クリニック 072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
サテライトなごみの里 072-818-2071
デイサービス 長尾の里
有料老人ホーム みどりの館 072-868-2727
グループホーム たんぽぽ長尾 072-868-2195
ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
地域包括支援センター みどり 072-845-2002
研修所 みどりの樹 0264-44-2550

編集後記

今年も枚方市公募事業の申請書類提出を9月末に終えつつしているのもつかの間、早いもので季刊誌秋号の発行の時期にきて編集委員会で、理事長のミュージカル友情出演、新任医師の紹介、院長からの働き方改革、松樹会公募2事業進捗、恒例行事の夏祭り、敬老の日の行事、等々を掲載させていただきます。是非一読いただければ幸いです。

個人的には秋の到来で、忙しい中ではありますが、ずっと続けている「男の料理教室」での秋の食材を取り入れた料理への挑戦と、昔集めたLPアナログレコード音楽鑑賞等でご覧いただいていると思います。

みどりの風編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田